

インドの月面着陸、成功?! 失敗?!

JSC 貿易部ニュース インド編

初秋も深まってまいりました(^) 皆様にはお健やかに過ごしの事と存じます。

さて、8月号のメルマガでは「インドの月探査機打ち上げ成功」のニュースとともに、インド宇宙研究機関（ISRO）チェアマン・シバン長官と偶然同じ飛行機に乗り合わせ、その後記念撮影した話をご紹介させていただきました。

打ち上げ成功直後に空港で多くの人に囲まれて祝福されるシバン長官。満面の笑みで嬉しそうでした。



その後、8月下旬に開かれた記者会見でも、シバン長官は「世界中が我々のデータを待っている。月の南極への着陸は史上初のことだ。NASAもこの地域での有人基地の建設プランを明かしている。我々のデータは人類史に残るプログラムに活用されることになる!!」と意気揚々と述べていました。

7月の打ち上げ成功時、私がバンガロールやチェンナイの現地で見たと同じような様子、アメリカ、旧ソ連、中国に続いての月面探査成功は約束されたかのような祝賀ムードでした。

当然、月面着陸も大成功~!! と思っていましたが、

しかし、まさか・・・???

日本のニュースでも報道されていたので、ご覧になった方もいらっしゃるかと思います。9月7日、着陸機は月面に向け高度2.1キロメートルまで計画通り降下していましたがその後地上局との通信が途絶えてしまったとのこと(>_<)

モディ首相も管制室で見守っていたようですが、結局交信途絶・・・失敗??に終わってしまいました。残念です!!(>_<)

その後、モディ首相はシバン長官はじめ宇宙研究機関のメンバーを次のような言葉で労ったそうです。この激励が実に「深イイ話」ですのでご紹介いたします(^)



「月への旅路は国民に常に喜びを与えてくれた。
科学には失敗はない。あるのは挑戦と努力のみ
だ！！」

「新たな夜明けはすぐにくるだろう。それは
もっと明るくなるはずだ！！」「人生は山あり谷ありだ。我が国はあなた方を
誇りに思っている！！」

などと、温かい激励の言葉をかけたそうです。いいですね！

予め、この言葉を用意していたのかどうかは分かりませんが、書店にならんでいる偉人の
伝記集なんかにもそのまま出てきそうな言葉です（涙）

上の写真は、モディ首相がシバン長官の肩に手を置いて激励している姿ですが、インド
のみならず海外メディアでも報道されていました。写真はアメリカの ABC ニュースの記事
からですが、世界もこのニュースには注目していたのですね！

また、モディ首相は Twitter でも、

「我々はまだまだ希望に満ちており、引き続き宇宙開発に注力していく！」と
これまた積極的な書き込みをしていました。



シバン長官も涙を流して、「モディ首相の激励は国民を
結集させた。我々はとても幸せだ。国民の士気を高め
てくれた！」と感謝を述べていたようです

←左は、涙を流すシバン長官と抱きしめるモディ首相。

まるで映画のワンシーンの様です。

しかし、物事には様々な視点があります。わたしは月探査機の打ち上げの夜、車の中で
仕入先の人から聞いたこんな話を思い出しました。

「インド政府はケチすぎる。チャンドラヤーン 2 号の打ち上げに関する予算って知ってい
ますか？」

「100 億ルピー（日本円で約 150 億円）ですよ。ハリウッド映画よりも安いのですよ！！」
え??

150 億円って通常感覚からする莫大なお金ですが、国を挙げての国家プロジェクトならもう少しお金かけてもよかったのでは？と思いつつ、色々調べてみると確かにハリウッド映画では 150 億円越えの映画は普通にあります。例えば、「タイタニック」が 294 億円「アバター」が 261 億円、そして「アナと雪の女王」が 150 億円です。

でも、今回の月面着陸失敗??のニュースを聞き、「残念だ～、テンション上がらない～」と嘆いていた仕入先の皆さんには怒られるかもしれませんが・・・

月面着陸は失敗??に終わりましたが、政治的には「アナと雪の女王」と同額の予算で世界から大きな注目を浴び、国威発揚や政府への求心力強化ができ、かつ国民の心をひとつにまとめ上げて感動を分かち合うことができたのなら、打ち上げは十分に「成功」だったと言えるのではないのでしょうか(^)

「我々はまだまだ希望に満ちており、引き続き宇宙開発に注力していく！」

モディ首相の言葉にもあるように月面着陸は持ち越しとなりましたが、インドの月探査は今後も続いていきますので、次こそ「着陸成功」をお祈りしております！！
皆様もぜひご注目を！(^)

今月の石のお話です。



昨年から閉鎖？停止？していたクンナム工場ですが、先月号で一部採掘再開のお知らせを致しました。

これまで、「ようやく工場再開」→「キズ多い」→「ブロック小さい」→「再度工場整理」→「ようやく再開」→「キズ多い」→「ブロック小さい」→「また工場整理」と終わりのない負のサイクルを繰り返してきたクンナムですが、お知らせいたしましたように一部工場生産体制が整いました（※ただし、外柵用の長尺・大材はまだまだです）

おかげ様で、現在「インド加工のクンナム製品」順調に受注しております。

したがって、今月もクンナムをプッシュ・プッシュです！！

「製品」供給が途切れていたクンナム製品ですが、これからが新たな始まりです。
是非、クンナムの墓石製品をご活用下さいませ！！

色々あったクンナムですが、モディ首相の言葉にあやかり再開を喜びたいと思います。(笑)
「我々はまだまだ希望に満ちており、引き続きクンナム製品に注力していきます！」です。

秋冷の折、皆様くれぐれもご自愛くださいませ。(^^)
今月も最後まで読んで頂きありがとうございました。

2019/10/01